

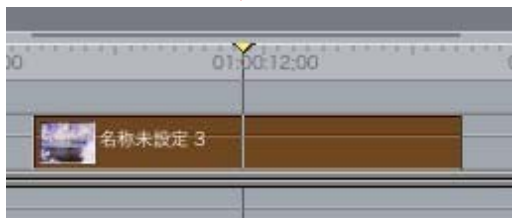
FxScript Trial

Mask+

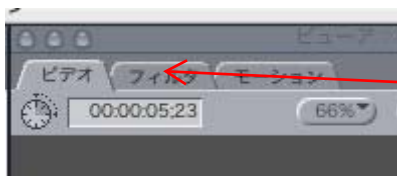
- ・ フィルターの設定
- ・ プラグの機能
- ・ ナビゲーション機能の解説

Filterの設置

まずプラグをライブラリー→Application Support→Final Cut Pro System Support →Plugins に入れる。
そしてFCPを立ち上げる。（プラグは起動したときしか読まない）

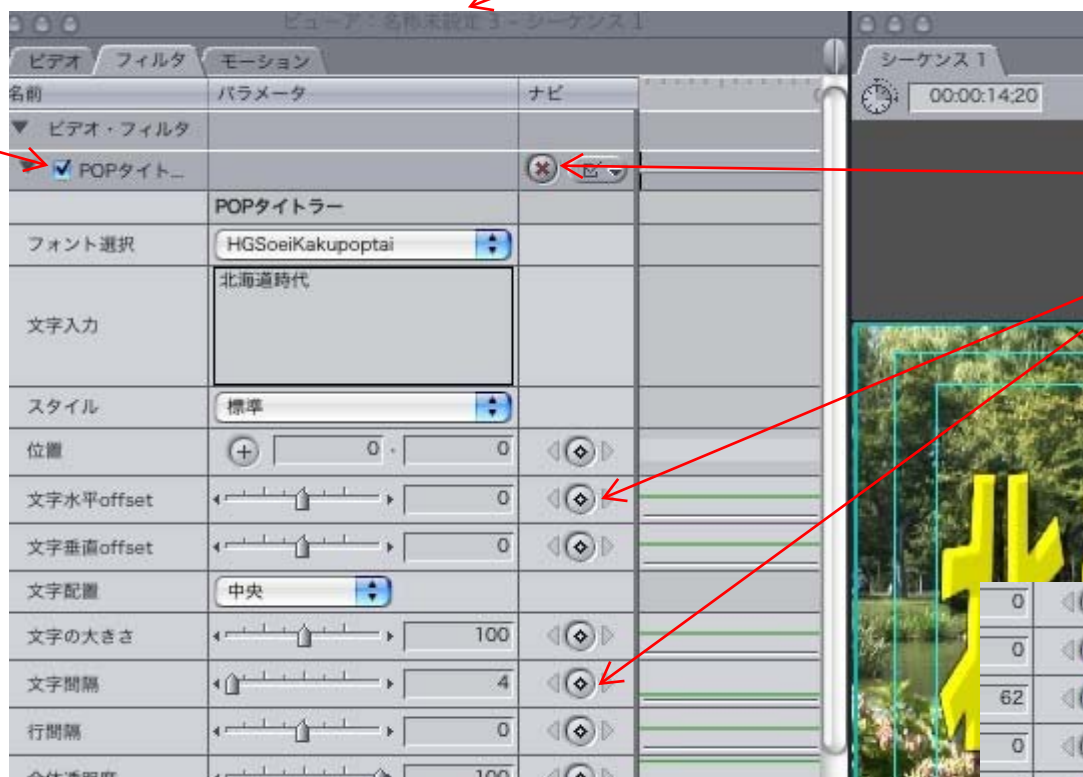


次にシーケンス上の映像をクリックして上方のエフェクト内のフィルターを選びFxScript Trial内の効果を選択する。



フィルターがセットされたのでビューアーのフィルターを押す。

ここを押すと効果がパスされる



ナビゲーション

ここを押すとナビゲーションの設定が全部クリアされる

項目ごとに設定

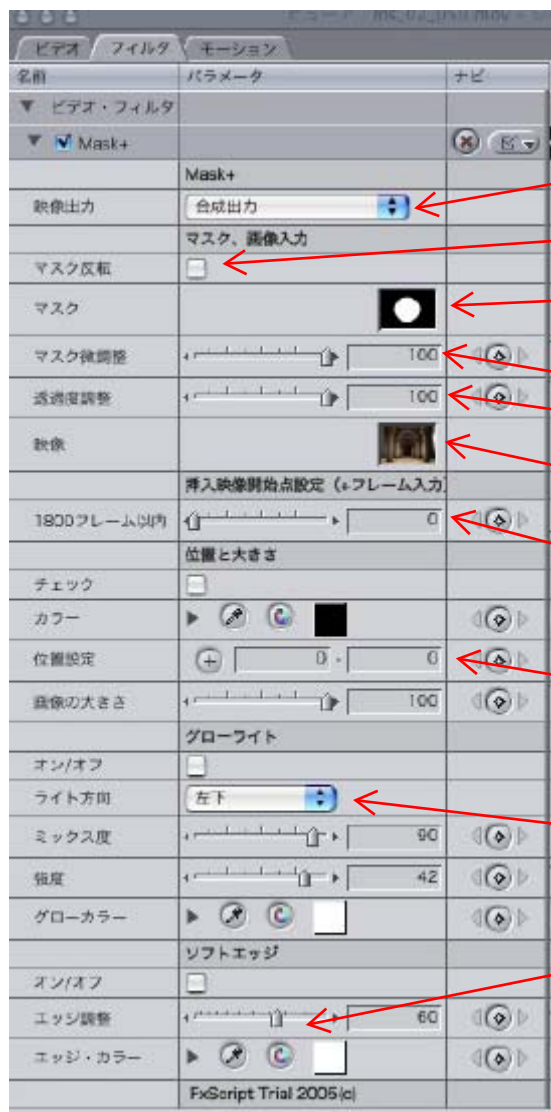
シーケンスの映像の進み具合に応じて数値を変化させる。これでレンダリングをかけると連続的に効果が変化する。



画像に設定されたプラグ

Mask+

Mask+はCGなどの素材集でマスクつきの素材に対応した仕様となっております。それ以外の用途としてマスク素材を作り挿入映像を入れることで下地に対して映像がマスクされ出てくるのが狙えます。



出力は合成、下地、挿入、マスクの4つから選択できます

マスク反転は効果が逆となります。

マスクはDVの場合は720*540ピクセルの大きさのものか素材集に付属しているマスクをつまんで入れてください。

微調整はマスクの抜け具合を調整します。下地に対する透明度が設定できます。

ここでは映像クリップをつまんで入れてください。

挿入画像の始まりはチャプター時の頭になりますですから使う絵の頭があまりにも長いとフレーム調整のオフセット範囲を超えますので注意が必要です。

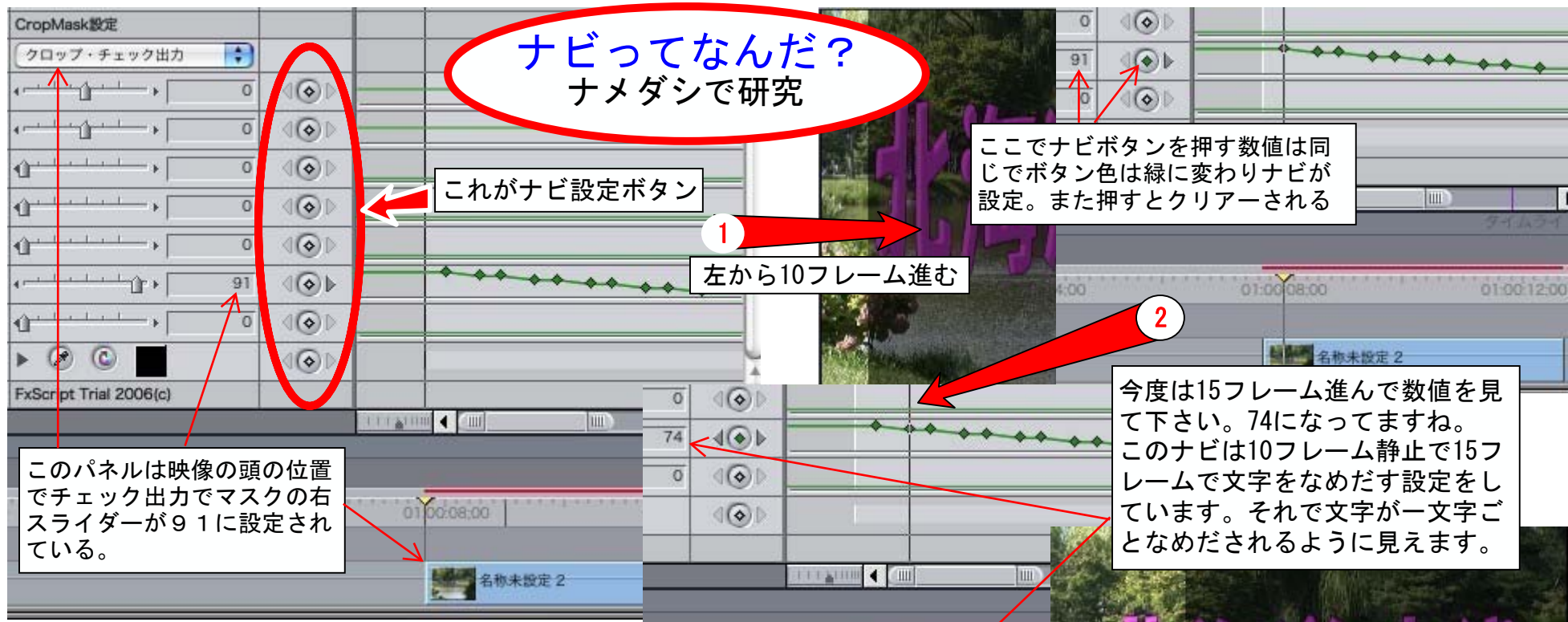
位置設定は挿入映像とマスクが連動します。大きさも同じです。

マスクされた挿入映像にだけ効果がある八方向ライトが装備されています。(動きはオートです)

ソフトエッジが設定できます。

デモ映像とご購入はここをクリック

FxScript Trial



ナビってなんだ？
ナメダシで研究

これがナビ設定ボタン

1
左から10フレーム進む

ここでナビボタンを押す数値は同じでボタン色は緑に変わりナビが設定。また押すとクリアされる

2

今度は15フレーム進んで数値を見て下さい。74になってますね。このナビは10フレーム静止で15フレームで文字をなめだす設定をしています。それで文字が一文字ごとなめだされるように見えます。

このパネルは映像の頭の位置でチェック出力でマスクの右スライダーが91に設定されている。

右のタイミングをそのまま進めて最後の一字まで行った設定。数値が24.5まで変化しているのがわかります。

3

デモ映像を見る
クリック



ナビゲーションの説明

ナビは最初にボタンを押したら設定モードに入り時間軸を進めるに従い数値を変化させるかナビボタンを押すことで設定されます設定が終わったらレンダリングをかけるとポイント、ポイントのキーフレーム（ナビで設定した位置）間が自動的に計算され動きが連続して見ることが出来るようになります。

フィルター系のプラグでナビボタンのあるものは全てナビ設定が出来、連続して効果をコントロールすることができます。

